

内 容：①新高の着果見直しについて



新高の着果見直しについて（説明）

生産者のほ場を借りて、前回に引き続き、新高（無袋）で、果実肥大や樹の負担軽減を目的に着果の見直しを行った。初めに、摘果する果実のおさらいを行い、摘果を実施した。

摘果の様子

結果枝が多く、摘果した果実が多くなった。



果実の裂果

今年は、梅雨が長く、日照不足で果実の肥大が悪く、その上降雨が多く果実に水分が多く送られたため、裂果が多く発生していた。